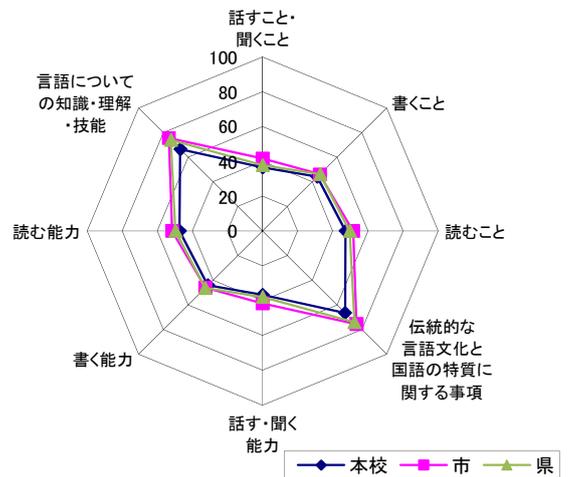


宇都宮市立海道小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	36.6	41.6	37.9
	書くこと	44.1	46.1	46.3
	読むこと	47.3	51.6	49.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	66.5	75.6	74.0
観点	話す・聞く能力	36.6	41.6	37.9
	書く能力	44.1	46.1	46.3
	読む能力	47.3	51.6	49.7
	言語についての知識・理解・技能	66.5	75.6	74.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均回答率は、県と比べて1.3ポイント低い。</p> <p>●提案者の役割を理解し、話し合いに参加することや、話し合いにおいて司会者の役割を理解し進行することに課題が見られる。</p>	<p>・授業に友達と話し合いながら課題を解決していく学習を取り入れ、経験を積ませる中で、話し合いの進め方を身に付けさせる。また、学級活動の話し合いの場で計画委員を誰にも経験させることで、司会進行の仕方や提案者の役割を理解できるようにする。</p>
書くこと	<p>平均回答率は、県と比べて2.2ポイント低い。</p> <p>●資料と話し合いを基に、学級新聞に付け足す文を記述することや、条件を基に、進行に沿った話し合いを記述することに課題が見られる。</p>	<p>・毎時の授業の最後に行う振り返りの中で学んだこと、身に付けたこと等を書かせることで、自分の考えを条件や理由を基に書くことができるようにする。</p> <p>・毎日の日記指導を通して、自分の思いを書くことへの抵抗をなくす。</p>
読むこと	<p>平均回答率は、県と比べて2.4ポイント低い。</p> <p>○目的に応じて文章を要約することがよくできている。読解力を付けさせるために問題集を全学年分購入し、授業や宿題として行ってきた成果であると考えられる。</p> <p>●段落相互の関係をおさえて読むことや中心となる語を捉えて読むこと、叙述を基に登場人物の気持ちを想像して読むことに課題が見られる。</p>	<p>・今後も問題集を授業や宿題として活用し、一人一人に応じた指導を行い、読解力を付けていく。</p> <p>・授業で、作品の要旨や主題を読み取る指導を、友達との話し合い学習を活用しながら行うことで、読解力を付けさせるとともに読むことへの興味関心も高めていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均回答率は、県と比べて7.5ポイント低い。</p> <p>●漢字の読み・書きや、主語と述語との関係、漢字辞典の使い方に関する課題が見られる。</p>	<p>・毎日、宿題として漢字を出し、採点して個々のつまづきを確認し、直すことで習熟を図る。また、朝の学習の時間を活用し、漢字ミニテストを行い定着を図る。</p> <p>・毎日の授業の振り返りや日記指導の中で、主語と述語との関係を個別に指導し、理解が図れるようにする。</p> <p>・漢字辞典を身近に置き、折に触れて使わせることで使い方の定着を図る。</p>